

# TPF vol.1

west1019



**TPF**

Tropical Plants and Flower  
Association

**vol.1**



**TPF**

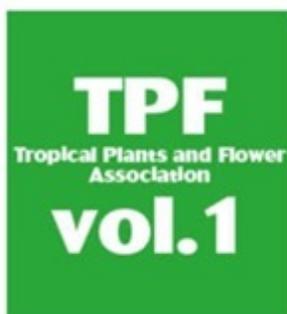
TROPICAL PLANTS & FLOWER  
ASSOCIATION



ハワイ島は天国でした  
ヤシを見たくて世界を放浪 島井宏明  
四国の山でバナナになったという話  
日本におけるココヤシの栽培  
雪と一緒にプルメリア さといも庵  
初めてのクセに花蓮に挑戦。 清水真智子

## 特集 **アベッチ21歳、タイへ行く**

未来の日本園芸会を背負って立つ阿部涼太21歳。  
いつか彼を国外に連れだそう、広い世界を体験させてあげたい。  
これは、我々の思いを5年がかりで叶えた記録だ。



TROPICAL PLANTS & FLOWER  
ASSOCIATION

## C O N T E N T S

特集 アベッチ21歳、タイへ行く	03
ハワイ島は天国でした	08
ヤシを見たくて世界を放浪 島井宏明	10
四国の山でバナナがなったという話	12
日本におけるココヤシの栽培	13
雪と一緒にプルメリア さといも庵	14
初めてのクセに花蓮に挑戦。 清水真智子	15

### 2014年度 タイツアーのご案内

今年は初夏に行きます。

- 日程● 2014年5/20(火)→5/27(水)※最長滞在の場合
- 予算● 飛行機代:¥40,000~¥80,000+宿泊代:1泊¥4,000前後×日数
- 予定● 5/21(水):チャトチャック園芸市場  
5/22(木)~5/23(金):チェンマイ  
カムティアン園芸市場、ムアンマイ果物市場、シリキット植物園etc.  
5/24(土):トンブリ園芸市場+バンブアトン園芸市場  
5/25(日):午後~夜の出発までフリー  
5/26(月)~:フリー

※すべてに参加しなくても、前半のみ、後半のみ、チャトチャックのみなど、個人で選択してください。

※往復の飛行機とホテルは各自で手配願います。発着空港は自由です。

# 特集 アベッチ21歳、タイへ行く

未来の日本園芸会を背負って立つ阿部涼太21歳。  
いつか彼を国外に連れだそう、広い世界を体験させてあげたい。  
これは、我々の思いを5年がかりで叶えた記録だ。



園芸仲間とタイを訪れるのは、これで三度め。そして今回は、とうとうアベッチを連れ出す事に成功w  
旅費は親に借りたんだっただけかな。ともあれ、めでたく海外デビューを果たした彼、二泊三日の滞在ですっかりタイ熱にはまったようですよ。うれしいじゃありませんか。

2013年11/29。成田を発ったのは、冬も間近な日で、熱帯へ行くのはいいけど、家に残した植物達が心配だなあと、全員が思っていたはず。時期的に、カラカラに乾いてしまい…ということはないものの、温度がね。そんな思いもタイの土を一步踏んだ瞬間に忘れてしまうのが、この国の魅力でしょう。

到着は夕方だったため、ホテルにチェックインしたら、即ナナを徘徊です。この街はバンコクの中でも一番好き。喧噪と国籍不明な人たちが繰り広げる非日常が、溜まりません。

翌日朝。チャーターしてあったクルマ(これがでっかいワゴン!)に乗り込み、急ごしらえのタイ語カード(\*1)をドライバーに見せて出発。最初の行き先は、バンコクから西へ数十キロにあるトンブリマーケットです。ここはバンコクにいくつもある園芸市場の中でも、ダントツの広さと品揃え、そして何よりレアもの扱いNo.1なんです。滅多な事では行かれませんが、そもそもガイドブックなんぞには微塵も載っていませんし、タイ歴が長い人だってご存じないでしょう。なにせ、外国人はほとんど訪れないという、超ローカルなマーケットなんですから。

到着したらまずはスイカジュースで乾杯。これ、大事ですよw  
暑い国ではスイカが旨い旨い。日本で飲むスイカジュースはおいしい試しがありませんが、タイのは本当においしいのです。そしていよいよ市場を直撃です。

外国人はほとんど訪れない=英語すら通じません(涙)看板という看板、ラベルというラベルすべてがタイ語です。まったく読めません。タイ在住の日本人に聞くと、「住んでいけば聞く/話すはある程度分かるようになるが、読み書きは無理!」だそうですから。そんな時に役立つのが、前述のタイ語カードなのです。

「これはいくらですか?」「安くなりませんか?」「学名はわかりますか?」etc.たくさん作って持って行ったのですよ。結構重宝しましたね。次回はパワーアップするつもりです。

この園芸市場での様子は、次のページでアベッチ本人が感想を述べています。なにせ、初海外でこのインパクトですか

ら、さぞかし人生観が変わったことでしょうw

翌日はメインイベント、国王誕生記念園芸市場です。通称ラマ9。バンコクの都心部と、空港の真ん中くらいにあるラマ9世公園で、毎年12月の第一日曜に開かれる園芸市で、我らな二度目となりました。ここはトンブリやチャットチャックとは少々違う品揃えの店が並ぶのです。とりわけ、ソテツの類いの充実ぶりには目を見張りまして、関心のない私でもほほ~とうなるモノがたくさんあります。マニアなら一度は訪れるべきでしょう。日本人はまずいません(そもそも存在を知りません)が、トンブリほどローカル色は強くないので、多少の英語は通じます。でも学名を尋ねるのはタブーの様ですね。調べるから待てと言われて10分…。罅があかないので店を出ました。見てるのが日本の図鑑だし…。

さて。どちらの市場も、あるいは他の園芸市場でもそうですが、日本のいわゆる園芸屋さんみたいな親切さ? はないので、頼りになるのは自分の目と知識になります。様は目利き力がないと、行っても面白くないということなのです。ラベルはついてない、あってもタイ語、英語すら通じない、聞いても分からないetc.

そのかわり、日本ではお目にかかれないような超絶レアな植物たちや、「ウッソ~」と思わず声を上げる安さが待っています。植物ではここタイとドイツが世界の両巨頭ですから、比較的安く行けるタイへは毎年行きたいものです。ということで、今年も5月に決行です。今からでも間に合いますよ。「行きたい!」と思ったあなた、連絡をお待ちしております。



国王誕生記念園芸市場

# タイに行ってきましたよ〜!!

【文・写真／アベッチ 阿部涼太】 今年大学4年になる植物博士



たいへん遅ればせながら。  
今から約2週間前タイ王国へ行っていました!!



何度も記事を上げよう、上げようと思っていたのですが、  
気づいたらこんなに時間が経っていました  
^^;  
とりあえず写真をばちばち貼って行きます  
〜!!

つづく。。かな?



# タイ旅行 ～園芸市場～



先の記事ではたくさんコメントありがとうございました^^  
皆様からの熱い要望にお応えして、  
タイ旅行記事第2弾です♪  
今回は、タイのかなりローカルな(?)  
市場からスタートです。  
かな〜り広くて迷路のような市場で  
した。

植物のみの市場ではなく、  
ほかにも日用品、雑貨、ペットetc...  
なんでもござれ〜♪です

市場に着いて一息。。  
スイカジュースです  
噂にはお聞きしていましたが本当に  
美味しかったです!



おまちかねの植物エリア!!

ひゃ〜!!見ているだけでテンションがあがりまくりでした↑↑  
写真には写っていませんが、タケ専門店、イモ専門店、ラン  
専門店などなど。

でも案外、日本の園芸植物のようなポットマムとか観葉植物  
系もありました〜





Bangkok plant tour Photos



1~5 トンブリマーケット  
 1:花色の濃いバウヒニアを見つけ、カット位置を相談するウクレレさん。  
 2:トンブリのイモヤさん。下手すると量り売りだったりするからオノロシイ  
 3:こちらはバナナ/ヘリコニアやさん。日本では信じ難い値段が...  
 5:2日間お世話になったドライバーさん。英語がほとんど通じないため、もっぱら紙で会話

6~9 バンカンブ トロピカルカフェ  
 6:ブルメリアの巨木がお出迎え。入り口はいかにもカフェだが、一歩扉を開けると...素晴らしいトロピカルガーデンが広がっているのです  
 7:これがカフェの中なんだから驚く!  
 8:見事なキリンヤシの鉢植え、数千円...  
 9:ガーデンの中の喫茶スペース





10



11



12



13



14



15

10~13 ラマ9世公園 2013年度国王誕生記念園芸市

10:アベッチが買った株かな? 満開のブルメリア ステノフィラ

11:逆トックリヤシードミニカンチエリーパーム、Pseudophoenix ekmanii. これはタイにしてはびっくりする程高価で、この大ききで〇〇〇〇円くらい、今年は絶対買って帰るつもり

12:贈場内にあるレストラン? でランチ。毎年恒例になりました。タイ在住の山東さんと、C&Y TRADING (<http://cytrade.namjal.co/>)の田中さんも会流してくれました。山東さんにはタイへ行くたびにお世話になっていますし、C&Yさんは購入代行と日本への発送をしてくれます

13:買い物を終え、園内を走るバスの中で植物の品定め

14:ホテルへ戻った後。勢揃いしたムクナベネティたち。この内、何本が生き残ってくれるかな

15:愛すべきナナプラザ。日常の憂いを忘れさせてくれる場所

16:こちらはソイカウボーイ。いかにもエイジアンな街

17:バンコクに着いた日の1枚。露天のドリアン売りを初めて見て喜ぶアベッチ



17



16

# ハワイ島は天国でした

ハワイの土を踏むのは、実に25年ぶり。今回の旅は、女性陣も加わっての大所帯。とても賑やかで、いつまでも記憶に残る旅になりました。

2013年10月には、皆でハワイへも遠征。オアフ延べ3日、ハワイ島延べ3日という、なかなか贅沢な旅でした。行き先は、所謂観光地など目もくれず、もっぱらナーサリーと植物園巡り。当然ですね。

オアフでは、フォスター植物園、ココクレーター植物園と、Charles Nee Nurseryへ。ハワイ島ではヤシ専門

のFloribunda Palms and Exotics、ヘリコニアのメッカ、SHOGUN Hawaii、Hawaii Tropical Botanicak Gardenを訪問。

いずれ劣らぬ素晴らしさでしたよ。ざ今回はハワイ島の2つのナーサリーをさっと紹介しましょう。どちらも神がってます。



こんな広いヤシの楽園を独り占め



Salaccaの一種。超巨大!

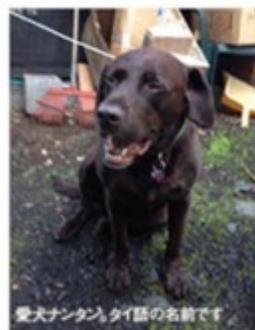


Metroxylonか?



2008年に買ったTahina spectabilis。もうこんなに大きくなって

## Floribunda Palms and Exotics



愛犬ナンタン、タイ語の名前です



ジェフが抱きついているのはディプシスの何かだっけ



何もないんだと驚かす象牙ヤシの実。楽しかった...



ここは給餌を育てる場所。素晴らしい環境ですよ



ジャングルの森へ入っていきます。パラダイス♪



ドイツ人マティアス。見た目は強面?だけど、気さくな方ですよ

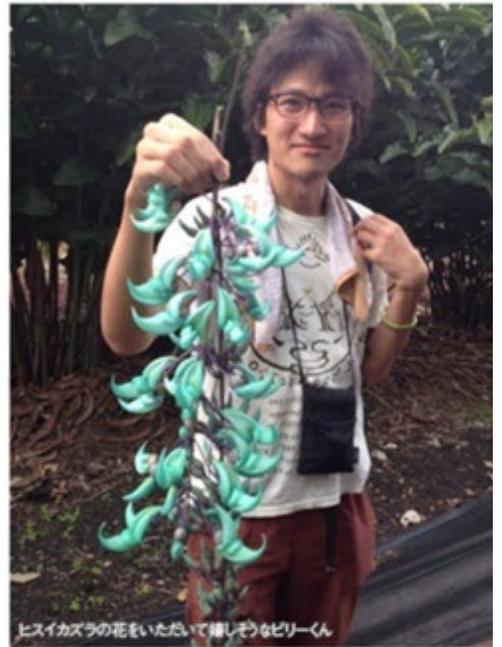
## SHOGUN Hawaii



このオレンジ色が満開でした



初めてその花の姿を拝むことができたマレーロー



ヒスイカズラの花をいただいて嬉しそうなピリーくん



日本ではまず見られない、レインボーカラーで産毛が毛羽織つっへりこニア。雷が激しかった



こんなに茂ったヒスイカズラは見た事がない!

# ヤシを見たくて世界を放浪

## (マレーシア・クアラルンプール、インドネシア・バリ島編)

なんとも変な時期に現実逃避でクアラルンプール(以下「KL」といいます。)とバリに行ってきました。

というのも、エアアジアのキャンペーンで安いチケットゲットできたから。

エアアジアでバリに行く場合、羽田からだだとKLを経由することになります。

せっかくKL経由するならKLで一泊することにして、かねてより行きたかったKL郊外の森林研究所FRIMに行くことに。でもって翌日、KLからエアアジアに乗ってバリへ、バリで1週間のんびりしつつ植物を見てきましたのでそのレポートをしましょう。

[文・写真/マイマイ 島井宏明]

去年不惑の40を迎えたヤシ好きのおっさん。HPやブログ、facebookでヤシをテーマに情報発信しています。今後も迷わず人生をヤシに捧げます!

### 1. FRIMにて

FRIMとは Forest Research Institute Malaysia マレーシア森林研究所 (<http://www.frim.gov.my/>) のことです。

KL市内中心からタクシーで30分くらい、電車だとKepong Sentral駅からタクシーで5分くらいだとおもいます。マレーシアはタクシー代が安いのでタクシーがおすすめ。

FRIMはめちゃくちゃひろいです。公式サイト見ると分かりますが植物園、キャンプ場、トレッキング、宿泊施設などなど、施設内を一周するには車かレンタル自転車が必須でしょう。

目玉はキャノピーウォークウェイ、熱帯雨林の樹冠に張り巡らされた吊り橋を歩くというアクティビティです。スリリングかつ怖いかとw

キャノピーウォークウェイに至るトレイルはきれいに整備されていて特別な装備無くても歩けちゃいます。相方はサンダルとハンドバックというおよそ山歩きとは無縁の格好で登っていましたからw

歩いているときさまざまな熱帯植物が迎えてくれます。FRIMはもともと錫鉱山の跡地を人間の手で植生を回復させてきたという歴史があるようで、正直たいしたことないかなとおもったのですが、なかなか良い感じ。

ヤシについていうと、砂糖ヤシ *Arenga pinnata* がいたるところで見られます。開花結実して種もゴロゴロ転がっています。

その他、クジャクヤシ属 *Caryota* spp.、ココヤシ *Cocos nucifera*、プランテーションからの移入種とおもわれるギニアアブラヤシ *Elaeis guineensis* など見られます。林床の小型のヤシがさほど観察できず残念。



P1: *Johannesteijsmannia magnifica* シルバージョーイ  
P2: ヤシ不明種  
P3: *Arenga pinnata* ●内はその果実  
P4: ラタン  
P5: クジャクヤシの仲間



P6~P9:  
バリ島のラタン  
トゲが素晴らしい

P10:  
*Pinanga coronata*

P11:  
赤い根を持つヤシ

P12:  
*Areca vestiaris*の果実



## 2. バリ島の Eka Karya 植物園にて

Eka Karya Botanic Garden または Bali Botanic Garden (<http://www.kebunrayabali.com/>) というのはクタヤデンバサールから車で2時間、ウブドからでも1時間半ほどの標高1,250~1,450 mの山の中にあります。プラタン湖やウルンダウ寺院などインドネシア人に人気スポットが集中するブドゥグルという場所にあります。

広大な敷地に、ラン園、サボテン園、薬草園、ペゴニア園、バンブー園などが点在しています。園内は車で巡るのが正解。時間の都合でバンブー園とヤシ園しか見ませんでしたが、園内をすべて見回するには2~3時間あったほうがいいでしょう。

出口付近にヤシ園があります。このヤシ園の特徴はイ

ンドネシアローカルのヤシの宝庫だという点です。世界中のヤシを集めたわけではなく、地味なラタン類が多く植栽されているのが良い!

その他、インドネシア各地からあつめたアレカ属のヤシや砂糖ヤシなど、海外産はごくわずかです。

ちょうどヤシ園を見学するタイミングで雨が降ってきたのですがヤシに夢中で雨も気にならず。

百聞は一見にしかずなので、写真にて楽しんでください。

## 3. 最後に

以上でヤシ旅のレポートを終わりですが、旅のTIPSをちゃちゃっと書いておきましょう。

KL やバリに行く方の参考になれば…。

海外での情報収集	到着した空港や街中の通信会社代理店や携帯ショップで現地通信会社のデータSIMカードを買うべし。 ネットに繋がれば旅の自由度がグッと増します。 ただしSIMフリーのスマホが必要 バリ島は山の中を除いて観光地では快適な3G通信できました。
バリ島での移動手段	現地で三日ほど車をガイド付きでチャーターしました。 一日4,000円~5,000円でチャーターできるのであちこち行く人にはお勧めです。 慣れればガイドや運転手なしで、自分で運転することもできると思います。その場合のレンタカー代は一日1,000円~1,500円程度 近距離はタクシーが安い。
バリ島の園芸店	デンバサールの盆栽ストリートに無数の園芸店有 特にランや盆栽を扱う店が多い その他植物園付近にも多数あり
バリ島のアルコール	ピンタンビールが定番でうまい! けどビールは安くない。手っ取り早く酔っぱらいたいのならヤシの蒸留酒アラクが効く! ヤシのどぶろくツアックを探し求めたが非合法とのことで出会えず残念



# 四国の山で、バナナがなったという話

愛媛の中田さんが5年前、沖縄のナハバナ園で手に入れた真珠バナナの苗。鉢植えを経て、実家近くの山麓に植えたのでした。

初めのうちは、冬になると地上部を枯らし、春になって出芽を繰り返していたバナナ、そのうち冬も葉をつけたままになり、昨年には見上げる程の高さに育ち、とうとう結実!

どう考えても日本で露地越冬できるような植物ではないのに一体なぜ????

環境に適応したのでしょうか。不思議です。宮崎バナナと言われ、九州南部で野生化している一群がありますが、あれはもともとバルビシアナの交雑種で、長い間かけて日本に順応したものです。

こちらは出自がタイのようで、バナナンぼさんに

もお尋ねしたものの、Kluai Hak Mulk ではないかということまでしか…。無理ありません。園主が真珠バナナと名付けたおかげでもとの名前が分からず仕舞なのです。仮に Kluai Hak Mulk であったとしても、0度前後まで下がる日本の地で、よもや実を結ぶことになろうとは当の本人（本バナナ）も夢にも思わなかったことでしょう。

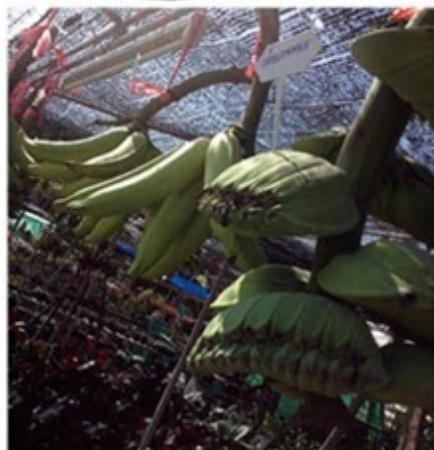
そういえば、一時期話題になったアイスクリームバナナも、実はタイのナムワーじゃんという話でしたね。タイはバナナの宝庫でもあるのですから、今後こういうケースは増えるのではないかな。キャバンディッシュの致命的欠陥は未だ補っていないようですし、タイに期待をかけるのが至極真っ当な気がします。



昨年に収穫できたバナナ。室内で対熟し、食べたところ、残念な事にお味はイマイチだったとか。生食ではなく調理バナナのようでした

右: 国王誕生記念園芸市場でのバナナ売り場。ホーンバナナや合掌バナナが並ぶ

下: 本浦市場のバナナ売り場。少なくとも数種のバナナが売られている



植えた当初の様子→左から、鳥、ベルチナ、ダーズリン、真珠、かるだば、と不明種



1年後の様子→皆立派に成長しています



昨年の様子、すっかりバナナ林になっています



# 日本における ココヤシの栽培

沖縄で街路樹として植えられていたり、  
インドネシアでは小さな姿のまま、  
盆栽として仕立てられているココヤシ。  
思い込みは捨ててかからねば。



どうにかしてココヤシを育ててみたい! そんなことを思ったのは、もう30年以上も昔。初めて訪れた南の島グアムで見た、一面のココヤシのあの素晴らしさが目に焼き付いて、以来ずっと夢にまで見ます。

ココヤシは、夏になるとよく鉢植えで売られていますね。でっかいココナッツから葉っぱが出るのを。あれ、買ってもしせいぜい数年しか持たせられませんから。早けりゃその年の冬に枯れます。大抵は10度を割るとおしまい、だいたいがちっちゃな鉢で育てようなんて土台無理な話。

なのに、根底から覆してくれるのがこれ! (P1,P2) ↓ この「盆栽」、凄くないですか? 俄には信じ難いけど間違いなくココヤシなんです。マイマイさんが見つけてきたインドネシアのサイト。なんであのマシブなヤシをここまでコンパクトにできるのか???

10号鉢でも足りないというのに、なにこれ??? 調べて見ると、発芽したのを、こうやって実を削って作るんですね。(P3)

実は自分も8年前にやってみたのでした。グアムで実の中身=



胚の部分だけにしたのを見つけて買ってきて、それを育ててましたら、2年間生きてたけど結局そこでおしまい。根がでなかったからダメなんです。もしちゃんと出ていたら、インドネシアのみたいになってたんだなあ…。

次に温度。前述の様に、一般には10度以上必要と言われています。しかし、何年か前の沖縄で、街路樹になっているのを見つけて私は衝撃を受けたのです…。

←P1

沖縄の冬は10度くらいまで下がるので、どうにかぎりぎり? とも思えますが、時には5度まで行く年もあるので、育ったとしてもまさか結実は無理だろう。そう思っていたら、どーよ、これは!!! (P4) 実がなっているのですよ。ココナッツが!!! もう、あり得ない光景に、我が目を疑いましたね。ぎりぎり5度あれば露地植できて熱帯並にでっかくできるってことですから! そしてそして、上手にやれば盆栽にもできるってことですよ!

なんとまあ、凄い話です。我が国でまさかココヤシが街路樹になっていようとは。。。大阪の咲くやこの花館にあるのが日本では最大のココヤシだとばかり思っていました。違ったのですね。



# 雪と一緒にプルメリア



[文・写真/さといも庵]

夢は南国めぐりな、魚介と果物好き30代



**き**っかけは幼い頃に見た一枚のポストカード。

**美**しい砂浜に置かれた名前も知らない南国の花が「プルメリア」という花であるらしい事を知ってから、(いつかこの花を見てみたい)そう思っていた。

**そ**れから何十年も経って大人になってから何のきっかけだったかこの花の事を思い出し、しかもそれがこの日本で、通信販売で買えるらしいことを知ってしまい、無謀にも購入ボタンを押した。何も考えていなかった。ただ、あの花に会えると思っただけ。

**そ**れがプルメリアにどっぶりハマることになった第二のきっかけ。

**ハ**ワイに行ったこともない。植物の世話など小学校の夏休みの課題でさえ、親任せだった私が、育て方も何も解らないままプルメリアを手にして。運よく開花株だった苗の、その花の姿と夢のような香りに心を奪われて、南国とはかけ離れた、冬は予報を聞いただけでも頭が痛くなるようなこの北国で、喜び、時に泣きながらも、いつしか虜になっていった。

**東**北のとある田舎町。近年は雪も少なくなって、雪国とは言えなくなったけれど、冬の気温は毎日、マイナスが付かない日はない。南国の植物が耐えられる「夏」の季節は一年の半分もない。その時期が来ればえんやこら移動を開始し、植え替えやらをしている間に、気が付けば越冬の事を考える季節になる。

そんな中、ここ何年かで両手の数を悠に越えた鉢たち、いわゆる「夏」はアパートのベランダ、残りの半年以上ある低温の季節を我が家の台所、もしくは職場のガラス壁面で所狭しと並べられ、毎日過ごす。

**冬**。今年も雪が降って、窓のガラスは凍りつく季節になっても我が家の南国の花達は(なんでこんな所に連れてこられたのか……)と嘆きながらもまだかまだかと暖かくなるのを待っている。

**私**も待っている。この冬が終われば、もうすぐ花の季節が訪れる。

時に上手く育てることができずに、悲しくて、悔しくて泣きたくなることもあるけどそれをやめられないのは、この花への憧れと、または意地でもあるだろうか。

**苦**難の季節を乗り越えて、大き広げる葉と健気に咲く花はどれもがとてもたくましく、とても美しい。





# はじめてのクセに 花蓮に挑戦。

[文・写真/清水真智子]

日々着物でアメリカ暮らしを楽しむフリーライター



夫の転勤で、日本の家財道具一式を持ち込んでアメリカに暮らして早1年。お気に入りのアンティークの水鉢は空っぽのままベランダに放置していました。

ふと、株分けでいただいた花蓮を育てていたことを思い出し、



また育てたいとゴネだして約数か月。見かねたのか、日ごろのストレス発散の矛先を逸らそうと企んだのか、夫がイー

ベイで中国くんだりから花蓮の種を取り寄せてくれたのが新年早々でした。その数8種類×数個の種。こ、こんなにいっぱい…わざわざありがとう、夫。

**植**物枯らし名人の私でもベランダで育てることができた花蓮ですが、今回は種からスタート。いったい、何をどうしたら…とインターネットで検索しま

くったところ。つ、土づくりから…しなくてはならないようだぞと、早くも心が折れそうな情報を獲得。何でも、庭用の土に牛糞などの養分をまぜこんで発酵分解がすすんで馴染むまで3ヶ月ほど混ぜながら放置し、最後に水と合わせて粘土っぽくするのが良いそう。は、ハードル高…。しかも植え時は4月頃。



てことは今から土づくりしないと間に合わない!

**気**を取り直し、まずは土探し。土は英語でソイル…ソイル…。近所のホームセンターを2か所、それぞれ園芸コーナーを巡ってみたものの、芝生用のばかりでかい袋入り

しか置いていません。この国のお家芸オンラインショッピングでも、運用の土など見当たらず。いきなり前途多難。とりあえず途中で注入するための養分とガーデニング用グローブとph値の計測器だけ近所で購入したけど…水鉢に可憐に咲くはずだった花蓮たちは一体どうなるんだ…。





TROPICAL PLANTS & FLOWER  
ASSOCIATION

## TPF vol.1

<http://p.booklog.jp/book/82336>

著者 : west1019

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/west1019/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/82336>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/82336>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ